

会 議 録

会議名 (審議会等名)		さがみはら森林ビジョン審議会				
事務局 (担当課)		森林政策課 電話042-780-1401(直通)				
開催日時		令和5年8月2日(水) 13時30分~15時40分				
開催場所		緑区合同庁舎3階 3-2A, B会議室				
出席者	委員	7人(別紙のとおり)				
	その他					
	事務局	7人(森林政策課長、他6人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	3人
公開不可・一部不可 の場合は、その理由						
議 題		1 開会 2 議事 (1) 副会長の選任について (2) 令和4年度さがみはら森林ビジョン実施計画の進行管理について 3 その他 4 閉会				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

同日午前中、株式会社 相模原木材センター及び東林間児童館への現場視察を行った。

審議会に先立ち、森林政策課長から山崎委員へ委嘱状の交付を行った。

1 開会

事務局（森林政策課）で開会し、会議定足数及び傍聴者の有無について確認がされ、委員の過半数以上の出席と傍聴希望者が3名いることを報告し、傍聴者の入室が認められた。また、議事録の公開について説明し、委員の了承を得た。

2 議事

（1）副会長の選任について

委員の互選により、副会長に山崎委員が選任された。

（2）令和4年度さがみはら森林ビジョン実施計画の進行管理について

ア さがみはら森林ビジョン進行管理の方法について

進行管理の方法、スケジュール等及びさがみはら森林ビジョン後期実施計画進行管理対象事業について事務局から説明を行った。

イ さがみはら森林ビジョン後期実施計画について

事務局から進行管理シートに基づき、令和4年度の主な取組と実績、事業課評価及び令和5年度の取組事項について説明を行った後、質疑応答及び事業に対する審議を行った。なお、事務局による進行管理シートの説明は、「重点事項その1」、「重点事項その2」について行った。

【「重点事項その1」に係る審議会からの意見、質疑応答等】

事業コード 1-2-1 さがみはら森林ビジョン普及・啓発事業（1）

（松本会長）「川崎駅前優しい木のひろば」ではどれだけの来訪者があったのか。また、可能であれば今後出展イベントにおける来訪者にアンケートを取ってはどうか。Google フォームなど容易に統計を取ることも可能なツールがある。

（事務局）ブース全体の正確な来訪者の数はカウントをしていないが、モバイルづくりのワークショップは約150人の参加があった。さがみはら津久井産材利用拡大協議会においても同様のご意見をいただいております。今後出展イベントにてアンケートの実施を検討する。

（中島委員）令和5年度の出展予定はいかがか。

(事務局) 令和4年度同様、アリオ橋本における「森フェス」や「川崎駅前優しい木のひろば」等に出展を予定している。

(中島委員) セブンアンドアイホールディングスより東京23区や埼玉県、千葉県等でシティプロモーションも含めてのイベント実施を打診されている。観光協会とともに、移住定住等の取組も視野に入れて出展を検討して欲しい。

(事務局) 先に述べたイベント以外にも様々出展の打診をいただいております、それぞれ効果を見極めながら進めていく。

(中島委員) 昨年度実施の森林体験ツアーについても同様の取組を今年度以降も続けていくとのことであるが、サステナブルに繋がるような取組に期待したい。また、実施にあたっては、サステナブルは注目度の高い分野であるため観光セクションと連携して取り組まれたい。

(事務局) 今年度は「里山体験講座」の実施を予定しており、コミュニティビジネス等に興味のある方を募集しているところである。

(松本会長) 昨年度の「川崎駅前優しい木のひろば」では動画を放映したとのことであるが、どのような動画であったか。

(事務局) さがみはら津久井産材利用拡大協議会のHPに掲載の木の伐採模様の動画である。

(松本会長) 伐採に限らず搬出時の架線を用いた様子も現場を知ることに関わるので是非取り上げていただきたい。

事業コード3-1-1 「相模原市市民の森」整備事業(2)及び

事業コード3-3-1 企業の森の整備(3)

(鈴木委員) 旧青根中の跡地利用についての状況はいかがか。

(事務局) サウンディング調査が進んでいるということであるが未定である。

(松本会長) 現地イベントが難しい状況は変わらずであるか。

(事務局) 登山道の開通により賑わいが戻ってきたことに伴い、登山道周辺の整備を進めている。現地でのイベント開催については相当の整備が必要となることから、他の場所について検討を進めているところである。

(鈴木委員) 昨今の状況に鑑みると、企業の森の制度化には、市有林の二酸化炭素吸収量の算出が必要と考える。二酸化炭素吸収量を民間企業に割り当て、企業のCSRとしてPRしてもらおう取組が今の時代には求められる。

(松本会長) 森林簿により二酸化炭素吸収量の算出は可能であり、是非「見える化」に取り組みたい。また、小田急電鉄や京王電鉄に津久井の森林に目を向けてもらえるよう働きかけをお願いしたい。

(中島委員) 鉄道によって各地域を線で繋ぐことが可能となる。ESGの視点で各事業者には取組を進めてもらえると良い。

(事務局) 市有林を活用していく方策を現在検討しているところであり、本日のご意見を参考に

させていただく。

(中島委員) 企業が森林に資金を投資することだけでは理解が得られないことも多い。ワーケーション等の場所としての活用も含め検討いただきたい。

事業コード 4-1-1 さがみはら津久井産材素材生産量の拡大(4) 及び

事業コード 4-1-3 地産地消の促進(5)

(松本会長) 栃木県内の自治体で行われている事例があるが、公共的建築物等へのさがみはら津久井産材の活用について、行政が年間 100 m³や 200 m³の原木を購入し、ストックしておくやり方も検討していただきたい。行政がストックした分については確実に利用される分となり、素材生産量の拡大に資すると考えられる。ストック場所が懸案に思われるが、廃校跡地等の利用も良いと思われ、天然乾燥も可能となり、人工乾燥に比べて二酸化炭素の排出量も抑えることが可能となる。

(松本会長) 視察した東林間児童館の木材の使用量はどれほどか。

(事務局) 施設全体で約 90 m³の使用に対し、さがみはら津久井産材は約 70 m³で約 8 割使用されている。

(松本会長) 今回の使用量程度のストックは必要と思われる。公共的建築物等への利用について、計画的に進めていただくとともに、ストックについて検討されたい。市として取組を行う必要があると考える。

(淵上委員) 小・中学校が木造で楽しい建物となれば移住者も自ずと増えると思われる。設計プランがあれば使用木材量もわかる。設計とともに事前調整をお願いしたい。

(松本会長) 木造の幼稚園や保育園も人気で、見学や入園の希望が多いと聞いている。

(中島委員) 子育て世代の視点で物事を考えてみれば当然のことである。

(杉本委員) 素材生産の立場からすると、計画的にいつどんな木が必要ということがわかれば動き方も変わってくる。森林によって成長率も異なるため、事前に需要が分かれば良い。

(松本会長) 今後進めていく上で標準となる設計を行えば、各施設多少の変更はあれど木材調達等が容易になるものとする。

(杉本委員) 素材生産量の目標について、今後右肩上がりの目標となっているが、今後は増減を繰り返していくことが想定される。目標値の設定変更を行うべきではないか。

(事務局) さがみはら森林ビジョン後期実施計画に記載の目標値であるため、変更は困難だが、審議会の中での進行管理においては別に設けることも一つの選択肢である。

事業コード 5-1-1 市有林整備事業(6)

(松本会長) 指標・目標を下方修正してはいいかがか。令和 5 年度をもって中間年度を迎えるため、見直しを行うことも考えて良いのではないか。

(事務局) さがみはら森林ビジョン後期実施計画に記載の目標値であるため、変更は困難だが、

審議会の中での進行管理においては別に設けることも一つの選択肢である。

(松本会長) 市有林の面積は。

(事務局) 約 350ha である。

事業コード 5-1-1 私有林整備事業 (7)

(鈴木委員) 水源涵養や土砂災害の防止等の公的機能の発揮が期待される重要な森林で、荒廃した森林又は恐れのある森林の確保を進めることについて検討頂きたい。施策として、市として有用性のある場所から検討し、上記公有林化が必要な私有林の確保のための予算獲得又は基金の設立も考えられたい。相模原市内の農村林地及び山村奥地林地の取引価格は、ピーク時の 30% 程度の水準で、最近は下げ止まっている。

(事務局) 市にとってどういった位置付けの場であるか検討した上で選択していく必要があり、現状では寄附をお断りしている。

(松本会長) 治山事業はどこが担っているのか。

(事務局) 神奈川県である。

(松本会長) 森林整備と治山を同時に (現地発生材を用いて) 進めていく手法もある。

(鈴木委員) 丹沢のブナ林の所有者は。

(事務局) 国有林である。

【「重点事項その 2」に係る審議会からの意見、質疑応答等】

事業コード 2-3-1 津久井産天板交換等事業 (8)

(淵上委員) 令和 5 年度の天板交換枚数は 1, 0 6 8 枚を予定している。令和 4 年度においては約 2 割にナラ枯れ材を用い、令和 5 年度においては約 6 割にナラ枯れ材を用いる予定である。

(松本会長) 事業概要の文中に「間伐材」との表記があるが、淵上委員の話を聞くと「間伐材」の文言は削除したほうが良いと思われる。

(松本会長) 天板の交換枚数は累計いかほどか。

(淵上委員) 現在 4 4 校に対して、累計約 5, 5 0 0 枚である。

(葦山委員) 天板の交換事業は素晴らしい取組だが、それまで使われていた天板が廃棄される状況は、もったいないと感じている。

(淵上委員) 無印良品や小学校との企画で、再加工による再利用を検討している。

(松本会長) ナラ枯れ材を用いることに関し、なぜナラ枯れが発生しているのかなどの説明は学校に対し、行っているのか。

(淵上委員) 対象校に対して森林インストラクターとともに授業を行っている。SDGs への関心が高い生徒が多く、学校の中でもナラ枯れ材の活用を考えてくれている所がある。

事業コード 4-1-1 公共的建築物等への利用促進 (10)

(松本会長) No. 4、5と通じているので市として取組を進めていただきたい。

事業コード 4-1-4 木材の多様な利用のための技術・商品開発の促進 (11)

(松本会長) バイオマスについては保育所等で活用することで木育や環境学習の面で良い影響があると考える。学校における薪ストーブ利用も含め、教育部局との連携をお願いしたい。

(事務局) 現在、令和7年度中のいやしの湯におけるバイオマスボイラー実装について検討がなされている。

(山崎副会長) やまなみ温泉は重油からLPガスへ切替が完了したとのこと。市内の小中学生が訪れる「やませみ」や「かわせみ」についても検討がなされると良い。

事業コード 4-2-3 施業集約化支援事業 (12)

(松本会長) 現在の進捗状況は。

(杉本委員) 進んできている。

(松本会長) 年間の伐採希望量に対して、今の状況はいかがか。

(杉本委員) 現在は水源施策があるため、少し余力があるといった程度だが、将来的に現在の5～6倍の面積があると望ましい。

事業コード 5-1-1 里地里山等の整備事業 (13)

(松本会長) ナラ枯れ被害木を279本伐採したとのことだが、場所は。

(事務局) 市管理の緑地(公園やこもれびの森)のナラ枯れである。

(事務局) 令和5年度より病害虫を起因としや危険木の伐採に係る補助事業を開始した。初年度ということもあり予算額を200万円としたが、多分に利用いただいている状況である。

(松本会長) 森林を見渡すとナラ枯れが目立つようになってきたように感じる。

(事務局) 本市においても令和2年度から4年度にかけて爆発的に増加してきている。統計にて他市を見ると数年で落ち着く様子がみられる。

3 その他
特になし。

4 閉会

以上

さがみはら森林ビジョン審議会 出席者名簿

(5 0 音順)

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	鈴木 憲一	公募委員		出席
2	山崎 和彦	さがみはら津久井森林組合 代表理事組合長	副会長	出席
3	杉本 貴広	有限会社 杉本林業 取締役		出席
4	中島 伸幸	公益社団法人 相模原市観光協会 専務理事		出席
5	萠山 藍	公募委員		出席
6	淵上 美紀子	一般社団法人 さがみ湖 森・モノづくり研究所 代表理事		出席
7	松本 武	国立大学法人 東京農工大学大学院 農学研究院 准教授	会 長	出席